

**「世界のICT教育に警鐘を鳴らす、国連「ユネスコ」2023年世界報告書」
～教育効果についての確固たる証拠はほとんどない、適切な管理と規制を～」**

2023年7月、ユネスコは200を超える世界各国からの報告と研究成果をもとに、ICT教育について分析した「2023年グローバル教育モニタリングレポート」を発表しました。400ページを超える報告書は、世界各国の利用実態と問題点、課題を明らかにするとともに、「具体的な証拠」をもとに各国政府の「適切な管理と規制の欠如」に対して、警鐘を鳴らしています。

特に日本の学校現場が、「とにかく使え」と日常的使用の押しつけが強められている下で、「教育効果についての確固たる証拠はほとんどない」、「商業的利益よりも、子どもの最善の利益を優先すべき」、「テクノロジーは手段であって、決して目的ではない」「子どものデータ保護と法規制の強化を」と強調している点が重要です。

今回の「勉強会」では、報告書が行っている重要な指摘と提言を、世界各地の具体的な実態報告と結んで明らかにし、現在の日本のICT教育をどうとらえるのか、その根本的な視点を提起できればと考えています。

■日時：2025年3月30日(日) 14時～16時

■オンラインのみ 入場：13時40分から

■参加費：無料

■申込み締切 3月27日(木)

■時程

(1)世話人あいさつ 伊藤賢一氏(群馬大学情報学部教授)

(2)講演 田中康寛氏 (80分)(大阪教育文化センター事務局次長、教育問題研究者)

(3)質疑・意見交換 (40分)

*司会進行：大谷良光(子どものネットリスク教育研究会代表、元弘前大学教授)

**講師 田中康寛氏**

1957年生まれ、大阪府高槻市立中学校教諭(理科)

退職後一漁師、大阪教育文化センター勤務、子どものネットリスク教育研究会
専門委員会スーパーアドバイザー、教育問題研究者

著書：『教育の未来を拓く、学校でのICT「活用術」』(2023、大阪教育文化センター編)他

翻訳：「ユネスコ2023年グローバル教育モニタリングレポート：教育におけるテクノロジー」

■第4弾 2つの受講方法と申込み**①開催日にオンラインで参加する**

⇒事前に下記URLからGoogleフォームで申込み

●GoogleフォームのURL、

<https://forms.gle/U7tTNzK3hPVpVHWE7>

②「勉強会」開催日に参加できない場合

⇒事前に申し込めば、勉強会終了後「講演録画(YouTube)」の

URLと資料データ(PDF)を送付

●GoogleフォームのURL、

<https://forms.gle/etYMiSy5rTzs68sE9>

■この「お知らせ」を、問題意識をお持ちの友人、お知り合いにお伝え下さい。

■問い合わせ ed.dx.study.group@gmail.com